

# ネパール緊急・復興支援 中間報告

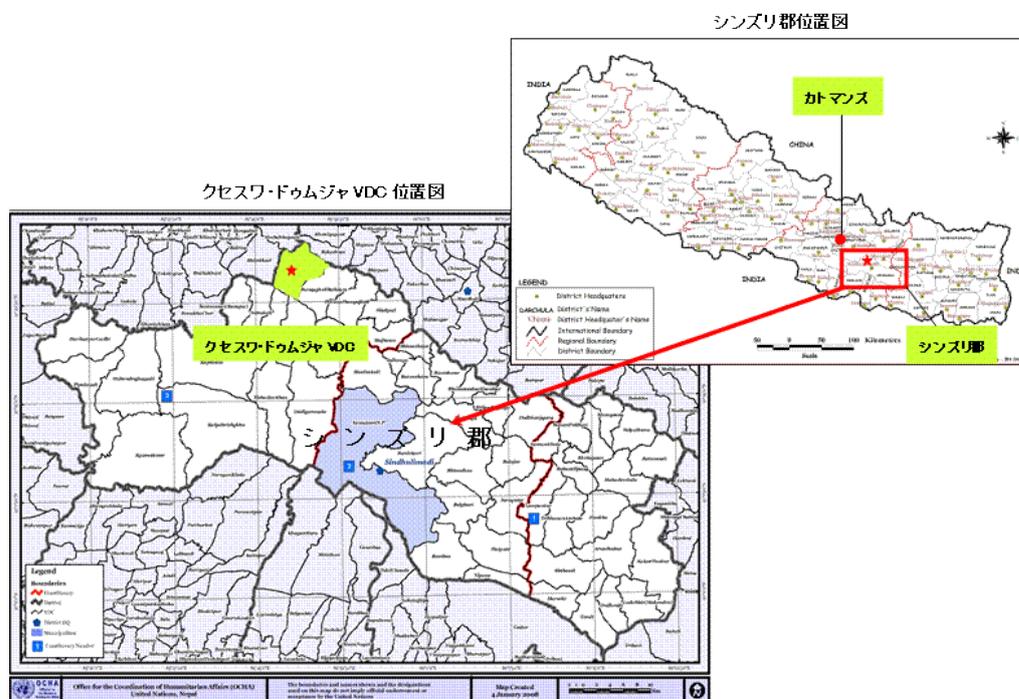
## GLM インスティテュート

2015年7月6日

GLM インスティテュート（以下 GLMi）は、ネパールで発生した大地震で多大な被害を被ったクセスワ・ドゥムジャ村（以下ドゥムジャ村）の住民を救うため、支援の呼びかけを行ってきました。7月1日現在 633,246 円の寄附をいただいております、その一部を使って米の緊急配給を行いましたので報告いたします

### 1) シンズリ郡の概要

GLMi が活動しているドゥムジャ村は、マガル族、タマン族やハユ族などの先住民族や低カーストの住民が人口の 7 割強<sup>1</sup>を占めています。ドゥムジャ村には標高 600m から 2000m までの高低差があります。住民の大半は生活環境が厳しい丘陵地に暮らしており、貧困率は 59.4%<sup>2</sup>とネパール国内でも高い方です。GLMi は 2012 年から、外務省の NGO 連携無償資金を得て、ドゥムジャ村の住民を対象に、果樹・野菜栽培技術の普及、家畜飼育・ミルク生産技術の支援、土壌保全技術の普及、小規模灌漑の設置などの活動を支援してきました。



<sup>1</sup> Statistics of Sindhuli District 2065 (2008): Sindhuli DDC (District Development Committee)

<sup>2</sup> Poverty Mapping and Development Census in Sindhuli District 2065 (2008): Sindhuli DDC

## 2) 被害状況

ドゥムジャ村に住む Deepak Shrestha<sup>3</sup>さんの情報によると、最初の地震で 100 戸以上の家屋が倒壊し、7 歳の女の子が犠牲になりました。更に 5 月の余震で被害が拡大し、かろうじて残っていた 200 戸の家屋が崩壊してしまいました。2015 年 7 月現在、殆どの住民が野外で生活しています。カトマンズよりも標高が低いドゥムジャ村では、日が射している時は熱中症の心配がある一方、雨が降ると一気に気温が下がり、お年寄りや幼い子どもが体調を崩す危険が高まります。本格的な雨期が始まり、土砂崩れなどの二次災害も心配される中、住民は大きな不安を抱えながら野外生活を続けています。



村の様子



全壊した家屋①



全壊した学校



全壊した家屋②



野外生活をする村の人々①



野外生活をする村の人々②

<sup>3</sup> GLMi の現地パートナー NGO (Srijansil Welfare Society) の代表

### 3) 支援内容

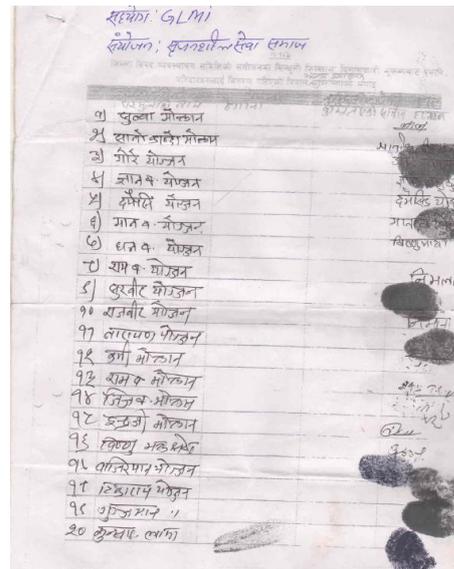
現地と相談の上、当面の緊急支援と中期的な復興支援とに分けて取り組むことしました。野外生活の住民が最初に必要としたテントは、赤十字が配布<sup>4</sup>したという情報が入りました。次に課題となったのは食糧でした。山の上に住むマガル族やハユ族は水田を持たず、また、貯蔵していた食糧も土砂で流されたり、がれきの下に埋まったりしています。そこで、米の配給に踏み切りました。ちなみに、ネパール政府は地震で被害を被った全世帯を A（被害大）、B（中程度）、C（ほとんどなし）の 3 ランクに分けていますが、ドゥムジャ村の全世帯が A ランクに分類されました。復興支援に関しては、緊急事態が落ち着いた段階で、学校などの修復活動を行うことで合意しました。

集まった義捐金から約 24 万円をネパールに送金し、177 袋（1,100 ネパールルピー×パー袋、1,000 ネパールルピー×パール袋）を購入しました。1 袋は 30 キロで、1 世帯の 2~3 週間分の食糧になります。ネパール政府の規定に沿い、村落開発委員会（VDC）や村のリーダーと協議して支援世帯を決定し、ハユ族の集落、そしてマガル族のオドレコット集落とドバンダラ集落の内、家屋が全壊した 75 世帯を対象に 6 月上旬に配給を行いました。その後、マガル族のオクレニ集落とカプレチョール集落、タマン族のダリムボット集落とアルコラ集落に住む貧困世帯や家屋の被害が大きかった世帯に残り 102 袋の供給を行いました。配布は一部の集落にはトラックで搬送しましたが、大半の住民は麓まで取りに来て、30 キロの米を担いで高地に戻ったと報告を受けています。

今後も現地と連携を取りながら支援活動を続けていきますので、よろしくお願ひします。



米の領収書



米の受領書

<sup>4</sup> 全世帯の 9 割にあたる 1000 世帯を対象。



配給に集まった人々



配給リストの作成



配給の様子



配給された米を担ぐ高地の住民